

「ビニールの花」を取除こう!

清流通信読者の皆さん、こんにちは四万十川財団です。
高知県発信の清流通信は、本号から四万十川中流域にある当財団からホットな話題を中心にお届けすることになりました。

さて、今回は4月10日に行われました、四万十川一斉清掃をご紹介します。来年3月20日合併して「四万十町」となる、窪川町・大正町・十和村の3町村では住民や関係機関などに幅広く呼びかけ河川の清掃活動を行いました。

昨年、四万十川は記録的な数の台風に見舞われ、流域の田畑は冠水し、農作物は大きな被害を受けました。倉庫やハウスなども被害を受け、流されたビニール類が河原や兩岸の木々にかかり、まるで「ビニールの花」が咲いたような状況でした。

この状況を何とか改善したいとの町村長の発案がきっかけで行われた一斉清掃ですが、流域外のボランティアをはじめ多数の住民のご協力を得て、四万十川本来の美しい姿に戻りました。

その前後の状況を当財団ホームページ（<http://www.shimanto.or.jp/>）に掲載していますので是非ご覧下さい。



↑ 四万十高校の生徒さん達



↑ 集まった沢山のゴミ

県立四万十高校の生徒達と一緒に清掃作業にボランティア参加の県四万十川流域振興室職員の方からは『清掃場所へ向かう途中、早朝から流域のみなさんが続々と四万十川に集合されるのを見て「自分たちの川を大切にしたい」「美しい四万十川に訪れてもらいたい」という熱い想いが伝わり、大変嬉しく思いました。帰路は新緑が映える河原の木々を一層気持ち良く眺めることができました。四万十川の長い道のりを守っていくためには、一致団結した取り組みが必要です。川が汚れてきたと言われる方もおられますが、こうした皆さんの想いや活動があれば美しい四万十川の姿を永遠にとどめていくことができると思います。』とのコメントをいただきました。

トビックス

梶原町で森林ボランティア!

平成17年4月29日（金）梶原町宮野乃九十九曲峠の町有林地で、ボランティアによる天然萌芽林の整理伐採作業が行われました。

参加者は総勢120人で地元梶原町はじめ遠くは四万十市からも大勢の参加がありました。当日参加した多くの皆さんは約4時間整理作業や山菜採りに汗を流し、帰りは雲の上温泉に入って大満足で帰られたとのことでした。「また来年も参加したい!」と語る当財団事務局長の声が弾んでいました。

